



通行止めとなった県道小林えびの高原牧園線＝30日、霧島市牧園町高千穂

島田口の霧島神話の里公園では同日、恒例の「桜の美い」が開かれ、多くの家族連れが花見を満喫していた。園は火口から約6キロに位置。高橋清貴支配人

(49)は「危険が差し迫つている状況ではない。霧島の春を十分に楽しんでほしい」と落ち着いた様子で話した。

市観光協会によると、温泉水街や宿泊施設のキャンセ

3(入山規制)に引き上げられた30日、霧島市の觀光関係者らからは「火山と共生する地域。仕方がない」と冷静に受け止める声が上がった。

噴火警戒レベルを3に引き上げた霧島連山・新燃岳について、気象庁は30日、

単発的噴火を想定 気象庁

専門家は「大きな噴火にながる可能性もある。霧島山は活火山だと再認識し、規制範囲を守ってほしい」と注意を促す。

気象庁は、人工衛星による観測で大量にマグマが蓄積しているような動きがみられないため、2011年のような長時間続く噴火には「直ちに移行することはないとしている。多量の

単発的な爆発を繰り返す、現在の桜島のような規模を想定していると説明した。

飛ばすブルカノ式噴火への警戒を呼びかけている。

噴火の可能性は、火山ガス(二酸化硫黄)の検出が

火山灰や軽石を放出した11年準ブリニー式噴火ではなく、大きな噴石を山腹に飛ばすブルカノ式噴火への警戒を呼びかけている。

噴火の可能性がある」と話した。

新燃岳入山規制

火山と共に生「仕方ない」

霧島市

観光関係者ら冷静

千穂の県道小林えびの高原牧園線では、通行止めの看板を見てヒターンする車が相次ぐ。東京都の50代の夫婦は高千穂峰を登山する予定だった。「驚いたが自然相手では仕方がない。温泉に入つてゆつくりする」と口をそろえた。

市ふるさとガイドクラブの登山ガイド、後藤辰美さん(76)は「警戒レベルを引き上げた後は、レベルを下げるまでの見極めが大変になる。長引かないといいが」と心配した。

が分離し、地下で動き出しがことになる」と話す。

警戒レベルの引き上げに



【問1】霧島連山・新燃岳の噴火警戒レベルが3になったのは、何年ぶりでしょう。

むずかしい漢字とことば

【問2】噴火警戒レベルを上げたのは、どこの省庁でしょう。

【問3】問2は、どんな規模を想定していると説明したのでしょうか。

【問4】2011年の噴火は、何を放出したのでしょうか。

【調べてみよう】身近な山や活火山について、調べよう。

霧島(きりしま)

新燃岳(しん・もえ・だけ)

噴火(ふん・か)

警戒(けい・かい)

地域(ち・いき)

見頃(み・ごろ)

迎(むか)えた

恒例(こう・れい)

満喫(まん・きつ)

危険(き・けん)

差(さ)し迫(せま)って

状況(じょう・きょう)

温泉(おん・せん)

宿泊施設(しゅく・はく・し・せつ)

延期(えん・き)

把握(は・あく)

訪(おとず)れた

落胆(らく・たん)

高千穂(たか・ち・ほ)

看板(かん・ばん)

峰(みね)

驚(おどろ)いた

気象庁(き・しょう・ちょう)

爆発(ばく・はつ)

繰(くり)返(かえ)す

規模(き・ぼ)

専門家(せん・もん・か)

再認識(さい・にん・しき)

範囲(はん・い)

促(うなが)す

蓄積(ちく・せき)=

火山灰(か・ざん・ばい)

山腹(さん・ぶく)=

呼(よ)びかけ

硫黄(い・おう)

分離(ぶん・り)

准教授(じゅん・きょう・じゅ)=

膨(ふく)らみ

確認(かく・にん)

避難(ひ・なん)

推移(すい・い)